【作り方説明書】

バニーセットの型紙

■詳細対応サイズ	■難易度
・58cm ソフビ M,L,LL(スマド未確認)	イージー/ノーマル/【ハード】/ハード↑/エクストラ
・9 インチ	
■サンプル使用生地の厚み	■手縫い可否
0.25mm	ОК
■用意するもの	■布に書き写すパーツリスト
・やや薄手〜普通生地	[シャツ襟チョーカー]
・接着芯	①②襟 2枚→そのまま2枚
・スナップボタン	③④台襟 2枚→ 11
・飾りボタン	⑤リボン 1枚→そのまま 1枚
・接着インサイドベルト ハードタイプ(0.6cm 幅を確	⑥リボン中心 1枚→ ハ
保出来るもの)	⑦襟接着芯 1枚→ リ
・0.7cm 程度の形状保持テープ ハードタイプ	⑧台襟接着芯 1枚→ 11
・0.12-0.16cm 程度の針金	
	合計:8枚 のパーツで構成
[0.16cm 前後の針金の種類について]	
・アルミ:柔らかく、扱いやすいがカチューシャ装着	
時の保持力は×。	[カフス]
・スチール: 0.16cm 以上は固すぎて、扱いが大変。保	①②③④カフス 4枚→そのまま4枚
持力は〇。	⑤⑥カフス接着芯 2枚→そのまま2枚
洗濯後にスチールのサビの様なものが生地に色移りす	
る可能性有。	合計:6枚 のパーツで構成
・ステンレス:スチール以上に固い。0.12cm 以上は切断	
が大変なのでおすすめしない。保持力は 0.12cm でも〇。	
	[うさ耳カチューシャ]
	①②③④耳 4枚→そのまま4枚
	⑤カチューシャ本体→そのまま 1 枚
	⑥⑦耳接着芯 2枚→そのまま2枚
	⑧カチューシャ本体接着芯 1枚→そのまま 1枚
	合計:8枚のパーツで構成
	1



01. 型紙を貼り合わせる

① 型紙に割り振られている番号を確認する。

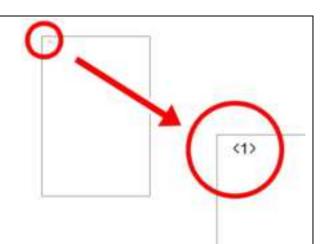
番号は型紙の左上に記載

※①~④の右図は全型紙共通で 使用しています。

型紙の種類によって貼り合わせる

枚数、数字は違います。

枚数、貼り合わせ数字については 各型紙をご覧ください。



② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を 並べる。

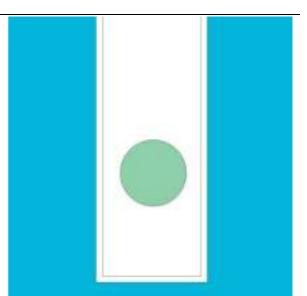
> 「青色の数字の型紙貼り合わせる」 という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。 ④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、 表裏両方をテープで留める。 (3> (4) 「02~07の右図は全型紙共通で使用 しています。

03. 布を裏にして型紙を置く。

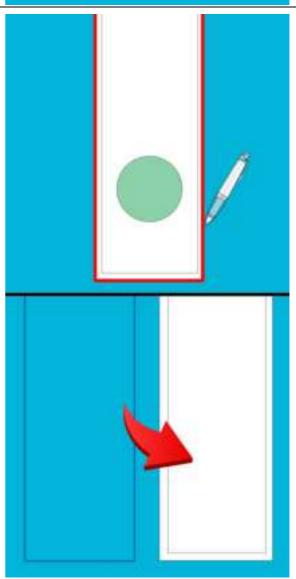
□ まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。



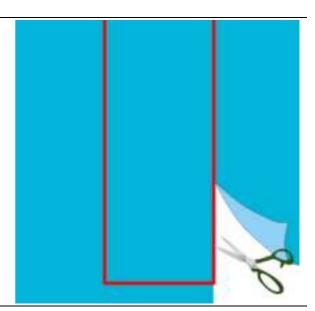
04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

~※オススメのチャコペン

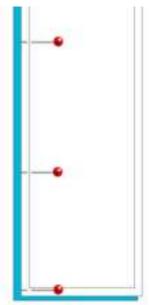
- ・カリスマシャープペンシル(使用中)
- ・クロバー 水性チャコペン



05. 04で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。型紙と布がずれない様にするだけなので、細かくとめる必要はない。



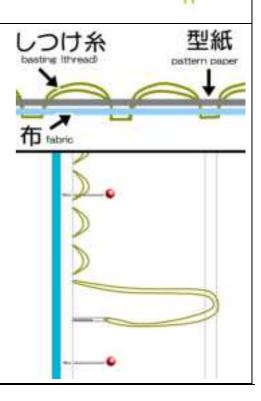
07. "切りじつけ"をする。(①~⑧)

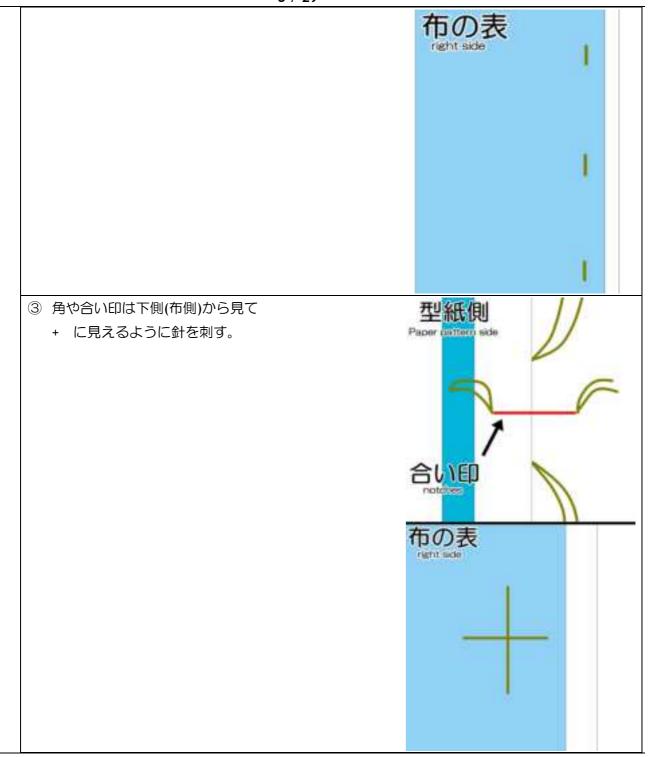
① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。

「玉止めはしない。

- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。
- A. 型紙から刺す
- B. 布を刺す
- C. 0.3cm 程度すくうように縫う
- D. 型紙を刺す
- E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺すA~E を繰り返す。

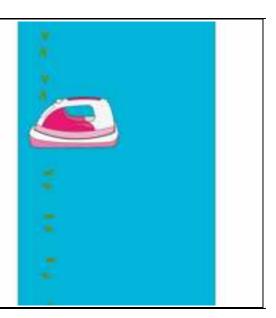
上側はたるませて、下側の糸はたるませない。 全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さな くても良い。





④ 上側のたるませた糸を切る。 ⑤ まち針を抜く。 ⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。 ⑦ 長い糸は3mm程度に切る。 「糸を抜き取らない様に注意。

⑧ しつけ糸が抜けない様に、アイロンか指で糸を寝かせる。

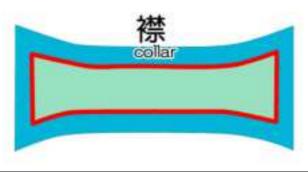


- ・カフスは 38 から。
- ・うさ耳カチューシャは 50 から。

[シャツ襟チョーカー]

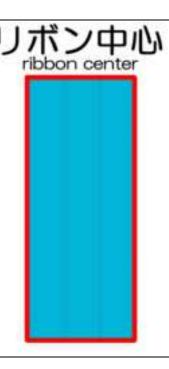
08. 襟と台襟 各1枚ずつに接着芯を貼る。

[アイロンをスライドさせず、上から押しあてる様にする。

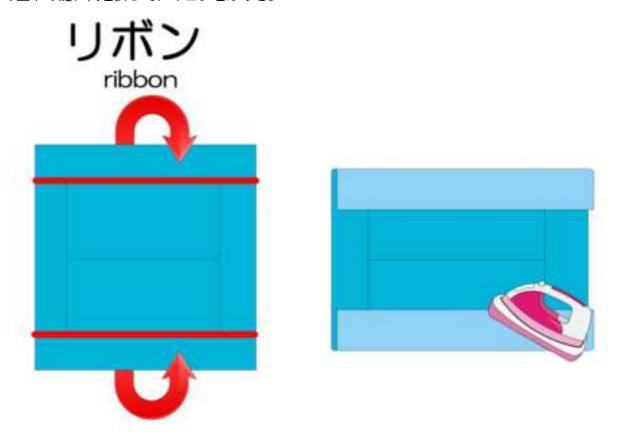




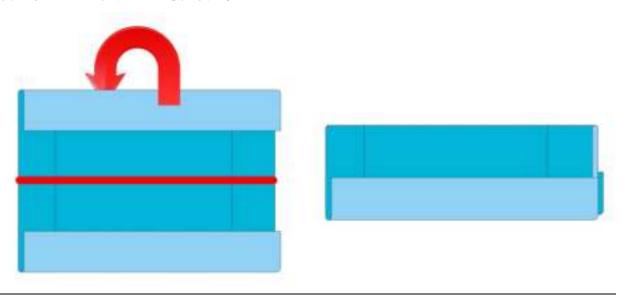
09. リボン中心に解れ止め液を塗る。



10. リボンの上下の縫い代を折ってアイロンをかける。



11. 表が内側になるように、リボンを横に折る。

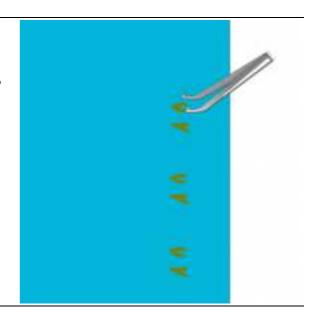


12. 両端を縫う。



13. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

「しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。 ↓ 以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。



14. 縫い代を 2mm 程度にカットする。





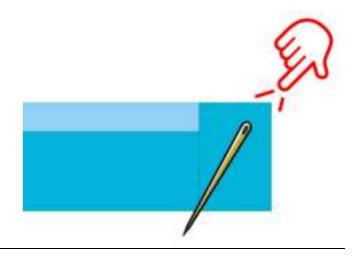
15. ひっくり返して、太い針の"糸を通す方"で 角を優しく押し出す。

布団等の太い針を使う。

ない場合は竹串やつまようじの"尖っていない 方"などでも代用出来る。

あくまでも優しく内側から押して角を出す。 強く押したり、尖ったもので押したりすると 貫通し布が傷む可能性も。



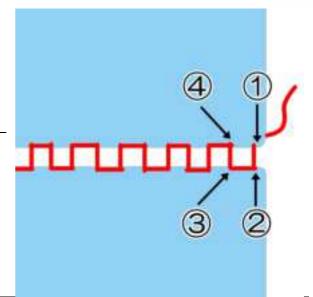


16. 開きを"はしごかがり"でとじる。

- ① 布の裏側から針を刺す。
- ② 反対側に針を刺し、布を 4mm 程すくう。
- ③ ②ですくった先から針を出す。
- ④ 反対側に針を刺す。
- ⑤ ①~④を繰り返す。

☆ 針は布に対して垂直に刺すと、終盤で布の長さが 違う等のトラブルが起き辛い。



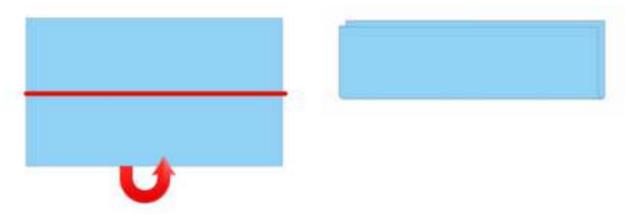


17. アイロンをかける。

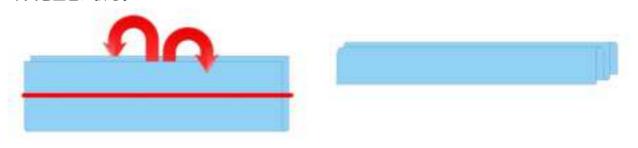


18. リボンを中心で折る。

折り辛い場合は、つまようじや目打ちを使う。 また、サテンリボン等で代用してもOK。



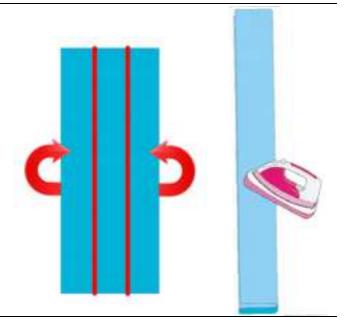
19. 更に中央を左右に折る。



20. 縦中央を留める。

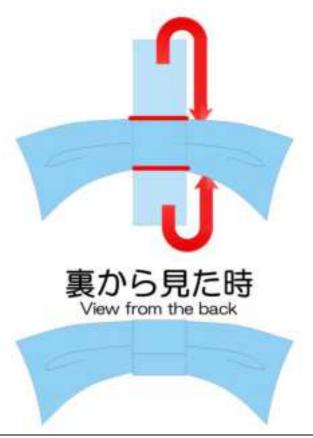


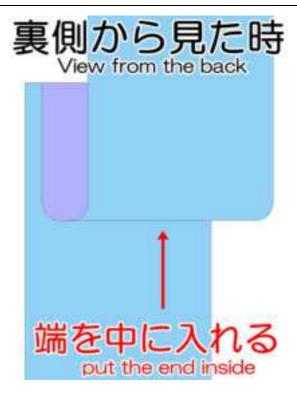
21. リボン中央を折ってアイロンをかける。



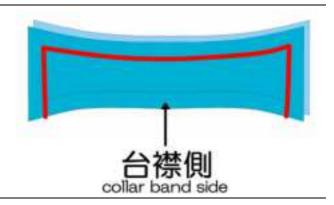
22. 中央パーツをリボンに巻く。

「上側を少し長めにする。 上側の端を中に折り込む。

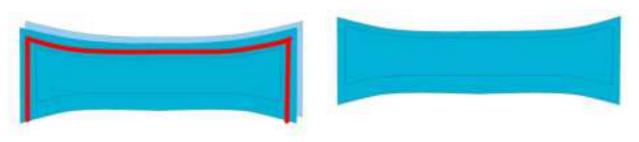




23. 表が内側になる様に、襟を合わせて縫う。



24. 縫い代を 2mm 程度にカットする。



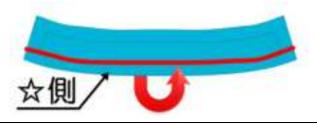
25. ひっくり返して、太い針の"糸を通す方"で 角を優しく押し出す。



26. 縁を縫う。



27. 台襟×2の ☆ 側を折ってアイロンをかける。

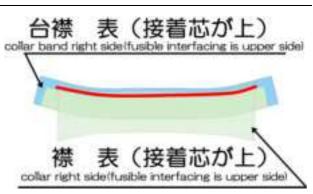




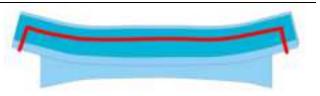
28. 台襟と襟を合わせて、縫い代中央に仮縫いする。

ー 台襟と襟、両方とも、接着芯を貼った方を上にする。 台襟上部の Ⅰ が襟を付ける際のガイド。





29. 表が内側になる様に、**28** の上にもう 1 枚の台襟を合わせて縫う。

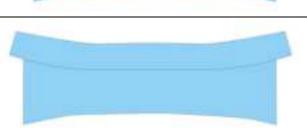


30. 縫い代を 2mm 程度にカットする。

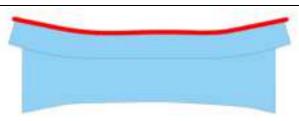




31. ひっくり返して、太い針の"糸を通す方"で 角を優しく押し出す。



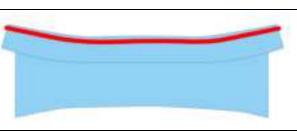
32. 開きを"はしごかがり"でとじる。



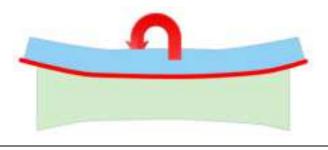
33. アイロンをかける。



34. 台襟の縁を縫う。

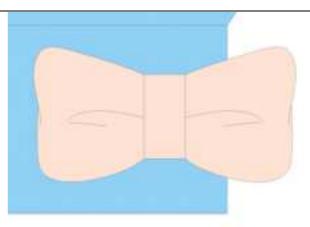


35. 台襟を外側に折ってアイロンをかける。





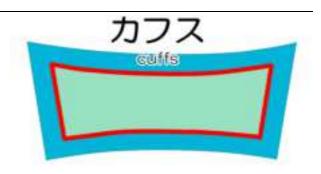
36. リボンを台襟に縫い付ける。「付ける位置はスナップボタンと同じ。



37. スナップボタンを付ける。

38. カフス×2 に接着芯を貼る。

「アイロンをスライドさせず、 上から押しあてる様にする。



39. カフス×4の ☆ 側を折ってアイロンをかける。

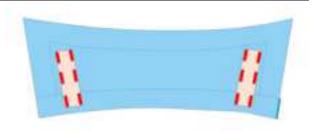




40. 接着芯を貼っていない方のカフス の表に

面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。

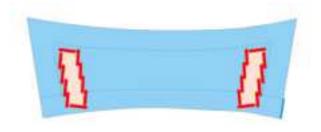
☆側の縫い代は折ったままでも OK。出来上がり線より 1~2mm 程度内側に仮縫いする。もう 1 枚も同じように仮縫いする。



41. 40 で仮縫いした面ファスナーの周りを、

まつり縫いで付ける。

「もう1枚も同じように縫う。

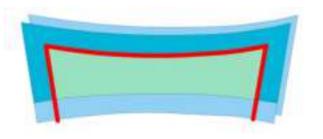


42. 40 で縫った仕付け糸を抜く。

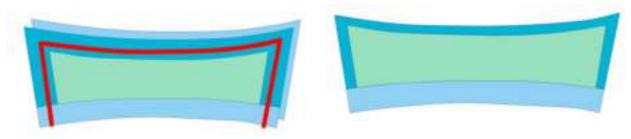
43. 表が内側になる様に、接着芯を貼った襟と、

貼ってない襟を合わせて縫う。

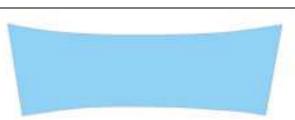
「 以降もう 1 枚も同じように進める。



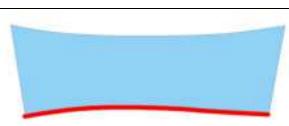
44. 縫い代を 2mm 程度にカットする。



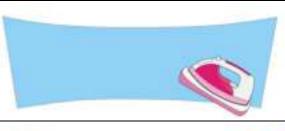
45. ひっくり返して、太い針の"糸を通す方"で 角を優しく押し出す。



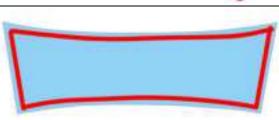
46. 開きを"はしごかがり"でとじる。



47. アイロンをかける。



48. カフスの縁を一周縫う。



49. 飾りボタンを付ける。

[うさ耳カチューシャ]

50. インサイドベルトを0.6cm×19.9cmにカットする。

51. 針金の両端をラジオペンチ等で曲げる。

┌ 19.5cm×1本

反対側も同じように曲げる。



52. カチューシャ本体にインサイドベルトを貼る。

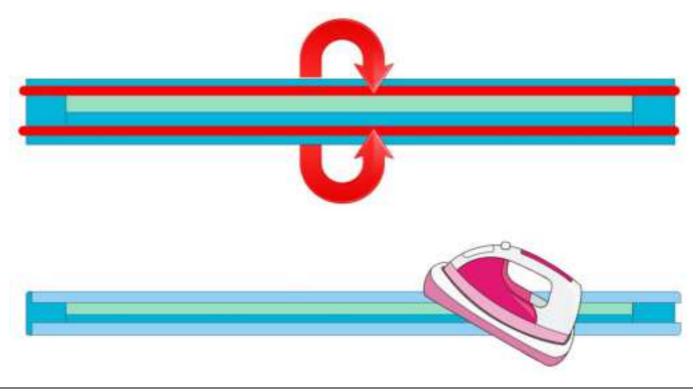
出来上がり線内の片側に寄せて貼る。

アイロンをスライドさせず、上から押しあてる様にする。

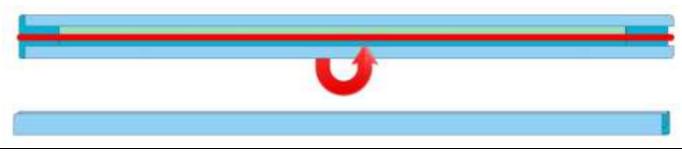
無接着タイプは 58 で針金を入れる時に一緒に入れる。



53. カチューシャ本体の上下の縫い代を折ってアイロンをかける。

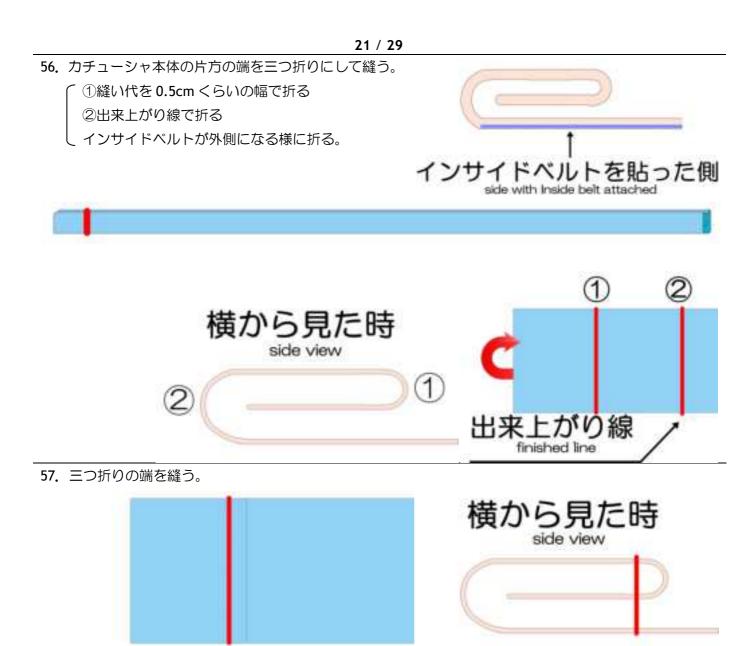


54. カチューシャ本体を横中心で折る。



55. カチューシャ本体の縁を縫う。

開いてる方を縫う。

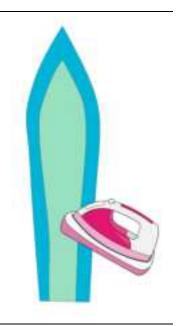


58. 針金を入れる。

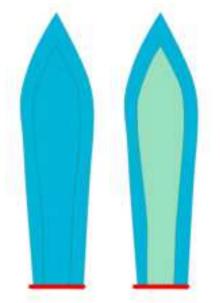
59. カチューシャ本体の残りの端を 56、57 と同じ様に縫う。

60. 耳×2 に接着芯を貼る。

アイロンをスライドさせず、上から押しあてる様にする。



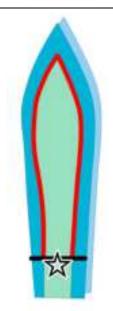
61. 耳×4の下部に解れ止め液を塗布する。



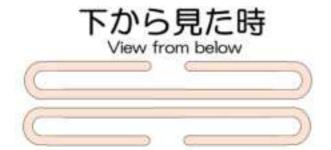
62. 表が内側になる様に接着芯を貼った耳と、貼ってない耳を合わせて縫う。

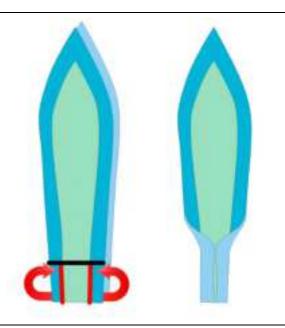
^ ☆ から先は縫わない。

以降もう1枚も同じように進める。



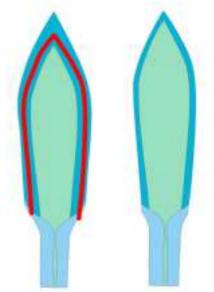
63. 裏表両方の縫い代を折ってアイロンをかける。





64. 縫い代を 2mm 程度にカットする。

「☆ から 1cm 程度上をカットする。



65. 耳の先端を凹ませて菜箸や竹串の背などで表に返す。 「ループ返しやループターナーという、ひっくり返す 道具も売っているのでそちらもおすすめ。

66. アイロンをかける。



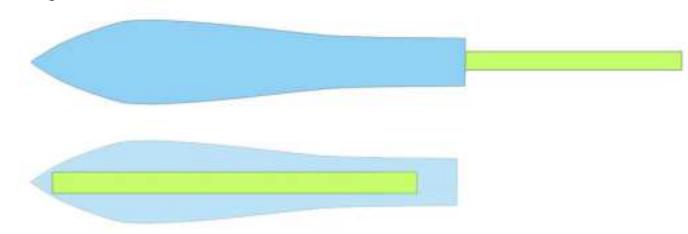
67. 形状保持テープを **9.5cm**×2 本にカットする。

形状保持テープ/セットアップテープ/ウェーブテープ等の名称で類似品が販売されている。 手縫いやミシンで縫製可であれば OK。

68. 耳に形状保持テープを入れる。

「耳の先まで入れる。

形状保持テープは耳パーツより短い状態になる。



69. ☆ の場所を縫う。

形状保持テープも一緒に縫う。 形状保持テープが耳の中央になる様に注意。

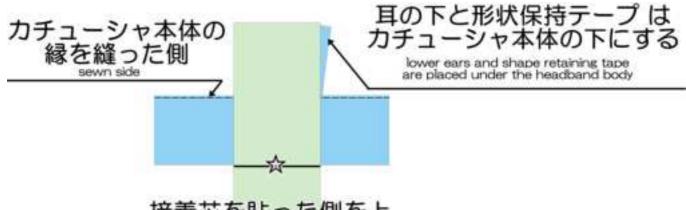


70. カチューシャ本体に耳を挟む。

方チューシャ本体の縁を縫った方を耳の開き側にする。

耳は接着芯を貼って ある 方を上にする。

形状保持テープはカチューシャ本体の下にする。

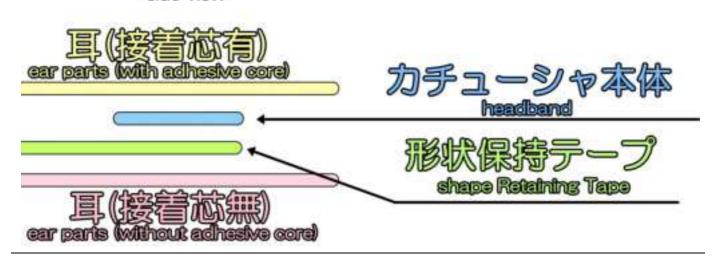


接着芯を貼った側を上

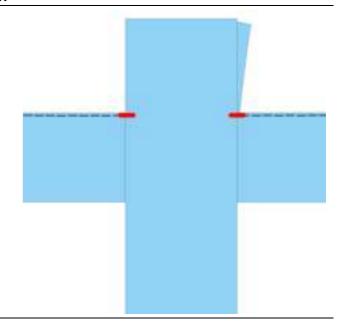
the side with the adhesive core attached should be on the top

横から見た時

side view

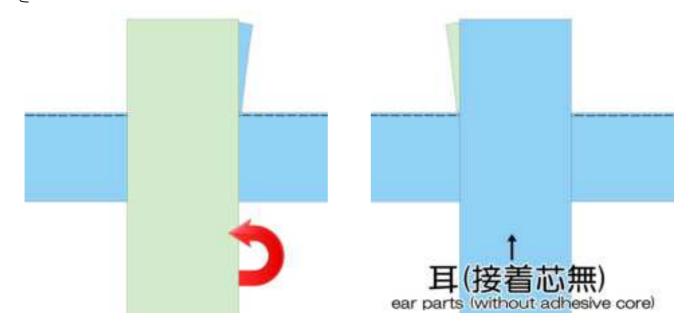


「接着芯を貼って ある 耳のみ固定する。



72. ひっくり返す。

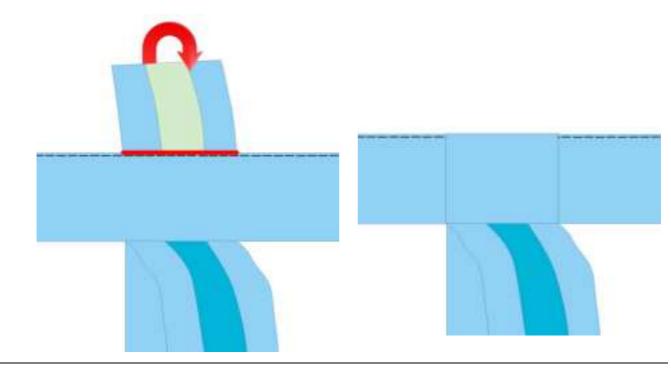
71 で縫った場所が裏になる様にする。



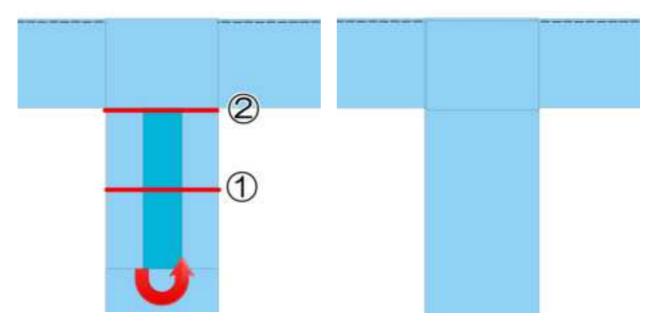
73. 接着芯を貼って ある 耳を、カチューシャ本体に沿うように折る。

接着芯を貼ってない耳は避ける。

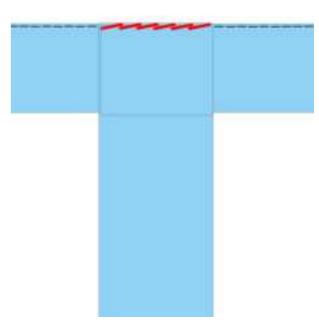
耳がカチューシャ本体より余る場合はカットする。



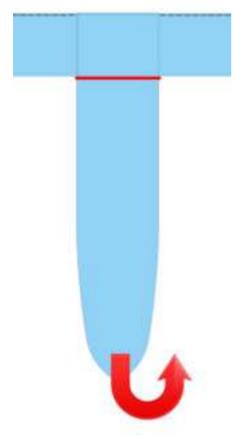
74. 接着芯を貼って ない 耳を折る。

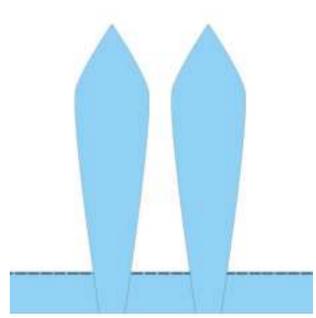


75. 74 で折った箇所をまつり縫いでとめる。



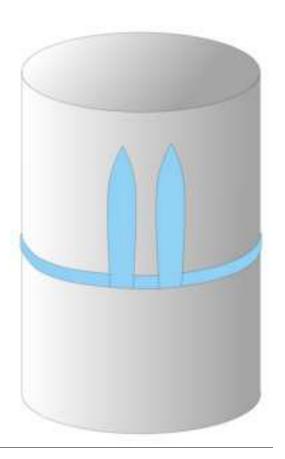
76. カチューシャ本体の根本から耳を立てる。





77. 直径 6cm~6.5cm くらいの円筒等に、 カチューシャを合わせて形を整える。

[参考: 350,500ml 缶 直径 6.6cm



お疲れ様でした!